

## コロナ禍の中で気づいた小さな支えあいエピソード【一覧】

数か月前までは、人と会い、おしゃべりし、交流することが当たり前の生活としていました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、私たちのこれまでであった普通の暮らしができなくなりました。

政府の緊急事態宣言により、「Stay Home」人との接触を減らし自宅で過ごすことが多くなり、緊急事態宣言解除後も、感染防止対策として政府からは「新しい生活様式」に切り替えることを求められています。

今だからこそ気づく、「普通の暮らしの幸せ」。

支えあいは、人が集まらなくても、おしゃべりできなくても、普通の暮らしの、日常にあるもの、と改めて感じる日々です。そのようなエピソードを、地域の皆さまとお話する中で耳にするようになりました。

今後、ほっこりするエピソードを「小さな支えあいエピソード」として掲載していきます。

以下、いままでに頂戴したエピソードをご紹介します。

### ～今できることでボランティア～

ある日、高齢者施設で書道のレクリエーションの指導をしているボランティアさんが、落合第一ボランティアコーナーに、書道のお手本を持ってきてくださいました。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設でのボランティア活動は休止中です。

「皆さんが、自主的にお稽古をなさっていると知ったので、せめてお手本をお渡しすることでお手伝いしたくて」とのこと。

書道の指導のボランティアを開始して間もなく緊急事態宣言が発出され、ボランティア活動が休止となったのですが、それからは毎月、お手本を用意してくださいます。施設の利用者とは、はがきでお互いの近況を知らせ合っているとのことでした。会えない時間が絆を育んでいるんですね。

ボランティアさんはもちろん、ボランティア受入施設の利用者、職員のみなさんも、変わらぬ笑顔でまた会える日を心待ちにしています。一日も早くその日がくることを願っています。



## ～見守り見守られ～

9月のある日、見守りに登録しているボランティアさんが、落合第一ボランティアコーナーに花火とお月見飾りの折り紙細工をお持ちくださいました。

この方は折紙を趣味とされており「今年は各地の花火大会が中止で寂しい夏だったので、地域のみなさんに折り紙の花火を楽しんでもらえたら」とお届けくださったとのこと。

「花火」は夏の夜空に広がる大輪が目に浮かぶ作品です。「月とうさぎ」は小さな月見だんごの一つひとつが折り紙で作られているかわいらしい作品です。落合第一ボランティアコーナーに展示していますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。落合第一ボランティアコーナーは、落合第一特別出張所内にあります。

このボランティアさんは、地域見守り協力員の活動もされています。利用者宅を訪問後、階段を降りて帰るボランティアさんを、利用者さんが階段を降りきるまで見送っているそうです。お互いに見守りあう様子が目に浮かびました。おふたりの絆を感じるエピソードをうかがえ、温かい気持ちになりました。

「花火」 ↓ 「月とウサギ」 →



四谷地域の地域見守り協力員事業の利用者さんから寄贈いただいた、折り紙の爪楊枝入れを、新宿区内のボランティアコーナー（笹筒町 VC、若松町 VC、大久保 VC、落合第一 VC、落合第二 VC、柏木 VC）、高田馬場事務所、東分室の窓口にて配布しています。

コロナの中大変な思いをしている方々への労いの気持ちが詰まった作品たちは、一つ一つ絵柄が違いとてもカラフルです。ご自身のお気に入りを探してみませんか?!お待ちしております!

※地域見守り協力員事業

75 歳以上のひとり暮らし、または75 歳以上のみの世帯の方、希望する方を対象に、地域の支えあい活動として、地域見守り協力員（ボランティア）が月2回程度訪問する活動です。



若松町 VC



柏木 VC



笹筒町 VC



東分室



大久保 VC



落合第一 VC



落合第二 VC



カラフルな作品の中からお気に入りを  
探してみませんか?!  
お待ちしております!



高田馬場事務所

## 地域の方からの手作りマスクのご寄附

柏木地区にお住まいの方から、手作りマスクのご寄附がありました。

新型コロナウイルスの影響で家にいることが多くなり、裁縫の経験を生かして、マスク作りを始められたということでした。出来上がったマスクは、地域の方たちに使ってもらえたらというご希望があり、地域の方や施設とつながりのある社協にご寄附いただきました。

手作りマスクは、地域の施設にお譲りすることができ、とても喜ばれました。温かいお気持ちをいただきまして、ありがとうございました。



## 災害ボランティアを経験された地域の方からの寄附金

8月のある日、柏木ボランティアコーナーで10万円の寄附をいただきました。

この方は、昨年水害に遭われた方々のためのボランティア活動をした際、現地の社協に世話になったことから、社協をお知りになったそうです。そして、今回、社協が新型コロナウイルスの影響で多く申し込みがある緊急小口資金、総合支援資金特例貸付受付の窓口になっていることや、災害が起こった際の社協の役割について気にかけてくださっていました。その思いを、新宿社協への寄附金というかたちでお届けくださいました。この10万円は、国の特別定額給付金とのことです。

この方以外にも、特別定額給付金から寄附をしてくださる方が何人もいらっしゃいました。

ありがたい寄附金は、社協への力強いエールでもあり、背筋が伸びる思いがしました。

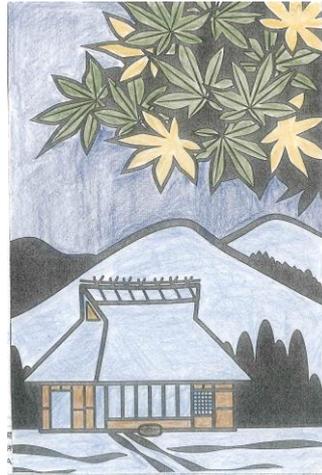
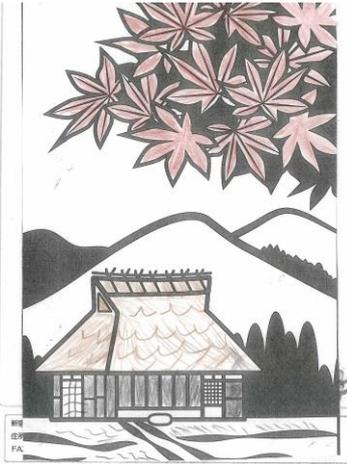
いただきましたご寄附は、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



～ベストリハ西落合～

西落合にあるデイサービス、ベストリハ西落合から、利用者さまがレクリエーションの一環として取り組んだ作品をいただきました。ほのぼのとした色合いに心がなごみます。人と人の距離をとることが必要な今だからこそ、とても嬉しい贈り物です。

素敵な作品を提供していただき、ありがとうございました。

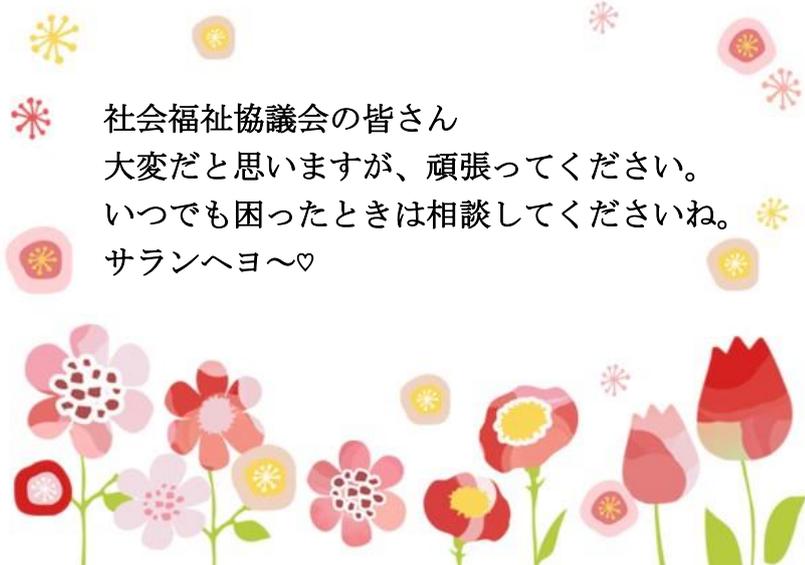


私たちが担当します。  
このご挨拶は大切に大切にさせていただきます。



お医者様 看護師様

アルコール消毒液を購入した店舗の皆さんより  
社協職員へメッセージとアルコール消毒液の寄付をいただきました。



❁ 社会福祉協議会の皆さん  
大変だと思いますが、頑張ってください。  
いつでも困ったときは相談してくださいね。  
サランヘヨ〜♡



コスメショップ蘭ちゃんの皆さん  
(株式会社 亜太)

協力員（※）が活動時に使用するアルコールスプレーを購入したことがきっかけで、社協の事務所に設置するアルコール消毒液のご寄付をしていただきました。アルコール消毒液が品薄で購入することが難しい時期だったのでとても助かりました。

※地域見守り協力員事業、ちょこっと・暮らしのサポート事業の協力員の方へ携帯用のアルコール消毒液を配布しております。

個人宅へ活動に行かれる際に、ご活用ください。

ご希望の方は、窓口でお渡しするので、お手数ですがお近くの窓口までご来所ください。

窓口	住所
新宿社協 高田馬場事務所	新宿区高田馬場 1-17-20
東分室	新宿区四谷三栄町 10-16
笹塚町ボランティアコーナー	新宿区笹塚町 15 笹塚町特別出張所内
若松町ボランティアコーナー	新宿区若松町 12-6 若松町特別出張所内
大久保ボランティアコーナー	新宿区大久保 2-12-7 大久保特別出張所内
落合第一ボランティアコーナー	新宿区下落合 4-6-7 落合第一特別出張所内
落合第二ボランティアコーナー	新宿区中落合 4-17-13 落合第二特別出張所内
柏木ボランティアコーナー	新宿区北新宿 2-3-7 柏木特別出張所内

### ～見守り協力員さんより～

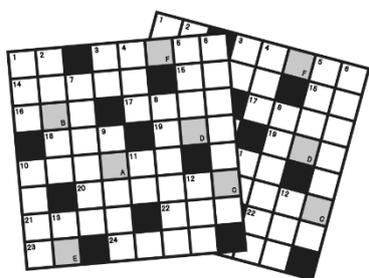
担当している見守り利用者さんで、クロスワードパズルが好きな方がいます。見守り訪問の度に、新聞のクロスワードパズルを切り抜いて持って行き、渡していました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために訪問を休止していた間（※注1）は、切り抜きを溜めておき、再開後に持って行くと利用者さんがとても喜んでくれました。

このようなご報告をボランティアの方からいただきました。

利用者さんに喜んでもらうために、協力員さんがおうちで新聞を切り抜いている姿を想像して、とても温かい気持ちになりました。

利用者さんも、心待ちにして訪問を待っていたそうで、今までに築かれたお二人の絆を感じました。



### 【地域見守り協力員事業】

75歳以上のひとり暮らし、または75歳以上のみの世帯の方、希望する方を対象に、地域の支えあい活動として、地域見守り協力員（ボランティア）が月2回程度訪問する活動です。

※注1 緊急事態宣言発出中の4月～6月は、協力員による訪問を休止とし、職員から電話にて安否確認を行っていました。現在は感染予防対策をし、訪問を再開しています。

四谷地域の地域見守り協力員事業の利用者さんから、折り紙の爪楊枝入れを寄贈していただきました。夏らしいTシャツ型のカラフルな作品です。

コロナ禍のこのような時に少しでも癒しを届けられたら、という思いを込めて作成して下さった作品です。

寄贈いただいた作品を、7月に開催された「新しい生活様式に合わせたサロン・通いの場等の実践について考える」情報交換会の場で参加者にお渡しし、あわせてZoomで参加いただいた方々にも窓口でお渡しできることを紹介させていただきました。

参加者の皆さんは、カラフルな作品を手にしてとても喜んでいらっしゃいました。

折り紙をご寄贈いただいた利用者さん、素敵な作品をありがとうございました。

### ※[地域見守り協力員事業](#)

75歳以上のひとり暮らし、または75歳以上のみの世帯の方、希望する方を対象に、地域の支えあい活動として、地域見守り協力員（ボランティア）が月2回程度訪問する活動です。

#### ◇お問合せ先

新宿区社会福祉協議会 東分室

新宿区四谷三栄町10番16号

TEL：03-3359-0051



夏らしく素敵ですね！

カラフルな作品の数々！

「人を助けることは、自分を助けること」

ボランティア活動の相談に来所した方。

中国の四川出身、日本語を学び、仕事のために来日されました。

活動の内容は問わないので、人のためにできることをしたいと希望。

ボランティア活動を始める際に、ボランティア活動への参加動機を伺っています。

「人を助けることは、自分を助けること」と。

コロナ禍の下ですが、少しずつボランティア活動を再開しています。「新しい生活様式」で、皆さんが安心して、人のため、自分のため、地域のために、活動いただけるよう、お手伝いさせていただきます。



四谷地区の見守り協力員事業の協力員の方が、マスクでお困りの方へと作ってくださった布マスク。4月下旬に社協に寄贈しようとして東分室にご来所いただいたそうですが、あいにくコロナウィルスの感染拡大防止のための緊急事態宣言中で東分室は窓口を休止していました。しかし、東分室と隣り合っている四谷高齢者総合相談センターの皆さんが、写真①のように手作りマスクの配布に協力をしてくださったのです。

また、寄贈者の方へメッセージを！と、マスクを受取った方にメッセージカードの記入を呼びかけてくださいました。「お礼にと小さな子どもが書いたアンパンマンの絵」「入院中の母に使用させて下さい」「個性のある鮮やかなマスクですばらしい！」など、幅広い年代の方からのたくさんの感謝のメッセージであふれていました。

いただいたメッセージカードは社協から、寄贈者へお渡ししたいと思います。

マスクを寄贈していただいた協力員の方、想いをつないでいただいた四谷高齢者総合相談センターの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

写真①



写真②



ボランティアさんからの報告。

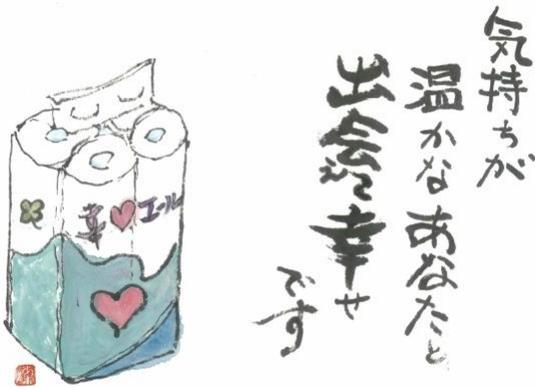
「トイレトペーパーが欠品で足りなくなってしまう、困っている。家族にも相談したが、すぐには来てもらえない。」と、一人暮らしの高齢者の方を訪ねた（※）際に、話を聞きました。後日、トイレトペーパーを入手することができたので、ご自宅へお届けしたらとても喜んでいただけました。

ボランティアさんからの報告で、小さな支えあいを感じました。

いろいろな生活用品が欠品になり、不安な気持ちを受け止めていただけたこと、ご近所同士での支えあいとしてお手伝いいただけたこと、ありがとうございます。

### ※地域見守り協力員事業

75歳以上のひとり暮らし、または75歳以上のみの世帯の方、希望する方を対象に、地域の支えあい活動として、地域見守り協力員（ボランティア）が月2回程度訪問する活動です。

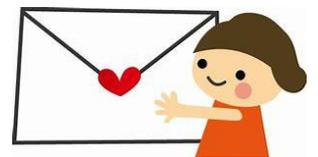


絵手紙が得意な協力員の方からイラストを提供していただきました。

### 【社協職員編】

ボランティアさんから届く報告書。

「コロナの中、大変でしょうが、お身体に気を付けて」との一筆箋。地域の方からの気遣いのお言葉に、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。



### 【社協職員編】

「社協の皆さんへ 頑張りましょう！」と応援のお言葉とともに素敵なお花をいただきました。いい香りのする、ビタミンカラーのお花です。

